

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	力学第二演習		
英文授業科目名	Exercises in Mechanics II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	大川 晋平		
居室	東4-623		

公開E-Mail	授業関連Webページ
okawa@mce.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>力学は物体の運動に関する学問であり，機械を設計したり，動かしたりするための基礎となります．また，機械工学系の学生が専門として学び，身につけていく，材料力学や熱力学，流体力学，機械力学を理解する上でも重要な素地となるでしょう．</p> <p>本講義では力学第二の範囲について，演習を通じて，特に剛体のつりあいや運動への理解を深めることを目標とします．</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
力学第一，力学第一演習

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
参考書：「物理学入門コース・演習 例解 力学演習」（戸田盛和ほか 岩波書店）など

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

質点系の力学からスタートし、剛体のつりあいと運動について進めていきます。  
毎回の授業では基本事項の確認と、演習を行います。  
学習する単元と大まかな講義回数は以下の通りです。

- ・質点系の力学（4回程度）
- ・剛体の力学1，（4回程度）  
（剛体のつりあい，並進，回転など）
- ・剛体の力学2，（3回程度）  
（剛体の回転，平面運動など）

授業回数は変更されることがあります。

各単元ごとに中間試験を実施する予定です。授業の進み具合によって実施日を決めますので、必ず毎回出席して確認するようにしてください。

授業中の演習だけでなく、中間・期末試験での点数が成績に影響します。

授業時間外にも十分に復習して試験に備えてください。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席，中間試験，期末試験により成績評価を行います。

必ず授業に出席し，自ら演習問題に取り組むこと。

演習問題と同程度の問題が解けること。

### 【オフィスアワー：授業相談】

必ず電子メールか電話でアポイントメントを取ってください。

できるだけ対応いたします。

### 【学生へのメッセージ】

力学の演習を通して，これから勉強する機械工学全般の理解が深まると思います。

大袈裟かもしれませんが，自分の手で問題を解こうと努力してみることで，将来の研究・開発などで起こる問題を解決するための体力を養えるのではないかとちょっと本気で考えています。

### 【その他】